

令和6年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果	参考
	(A) + (B)	(A) うち令和6年度の 森林環境譲与税（千 円）	(B) うち他の財源（千円）			
木製複合遊具更新工事（緑町ふれあい広場）	18,568	5,000	13,568	市立緑町ふれあい広場に存する木製複合遊具の老朽化に伴い、既存木製複合遊具の撤去及び木製複合遊具1基を新設する。なお、使用木材はすべて多摩産材を予定している。	令和6年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、児童用の木製複合遊具を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。	
木製複合遊具更新工事（関前四丁目公園）	20,900	7,722	13,178	市立関前四丁目公園に存する木製複合遊具の老朽化に伴い、既存木製複合遊具の撤去及び木製複合遊具1基を新設する。なお、使用木材はすべて多摩産材を予定している。	令和6年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、児童用の木製複合遊具を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。	
奥多摩・武蔵野の森に関する協定に基づく管理・啓発事業	880	880	0	これまで行ってきた森林再生の取り組みのレガシーを次世代へ引継ぎながら、引き続き都市住民が森林や林業に対する理解を深め、自然環境への関心を高めることができるよう、必要な措置に取り組む。	「奥多摩・武蔵野の森」(94.17haのうち3.35ha)の適切な維持管理を実施するとともに、森林や林業に対する理解を深めるため、市職員を対象に現地視察会を開催した。	武蔵野市が行っている東京の森林を守る取り組み  
第4期二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に基づく管理・啓発事業	2,420	2,420	0	森林のもつ公益的機能をより一層活かすため、適正な森林整備をすると共に、自然との触れ合う機会の少ない都市住民が自然体験の出来る場として活用する。令和3年4月1日から開始した第4期協定では、協定区域を拡大し、withコロナ時代に対応する事業として取り組む。	「二俣尾・武蔵野市民の森」(9.86ha)の適切な維持管理を実施するとともに、「森の市民講座」を5回開催し、森の散策と森の素材を活用したクラフトを市民に体験する機会を提供した。	

令和 6 年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果	参考
	(A) + (B)	(A) うち令和 6 年度の 森林環境譲与税（千 円）	(B) うち他の財源（千円）			
カーボン・オフセット試行 事業	1, 000	1, 000	0	森林由来の J クレジットを購入し、カーボン・オフセット事業を試行的に実施するとともに、地球温暖化対策の推進に関する法律の温室効果ガス排出量の報告に活用する。	鳥取県有林 J-クレジット 60t-CO2 分を購入した。令和 6 年度に庁用ガソリン車 48 台が排出した二酸化炭素のオフセットを行った。また、事業交流のある鳥取県の森林保全の促進に貢献するとともに、森林環境譲与税の仕組み等について市民へ啓発を行った。	武蔵野市のカーボン・オフセットの取組み 